

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2017年1月31日

【会社名】 クックパッド株式会社

【英訳名】 Cookpad Inc.

【代表者の役職氏名】 代表執行役 岩田 林平

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03-6368-1000

【事務連絡者氏名】 執行役 犬飼 茂利男

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03-6368-1000

【事務連絡者氏名】 執行役 犬飼 茂利男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2017年1月27日

(2) 当該事象の内容

連結決算

当社グループは2014年4月期からレシピサービスの世界展開を始め、主に買収を通じて地域別にサービスを提供してきました。

2015年12月期より、サービス開発効率を高めるため、グローバルで利用可能なレシピサービスのプラットフォーム（以下、「グローバルプラットフォーム」という）を開発し、順次当該グローバルプラットフォームに移行してきました。また、2016年12月期において、英国のCookpad International Ltd.を海外事業の全てを統括する第二本社と位置づけ、レシピ事業に関する知的財産をCookpad International Ltd.に集約させるとともに、海外事業の持株会社化を実施いたしました。

当該一連の知的財産の集約及び持株会社化により得られる新しい収益源泉は、従来想定していた各海外子会社単独で成長を続けることにより得られる超過収益力とは別に生み出される超過収益力と判断しました。これにより、従来認識していた超過収益力であるのれんは、今後使用見込みが実質的になくなったこと等から、認識し続けるべきではないとの判断に至りました。この結果、2015年12月期以前に認識されたのれん全額にかかる減損損失約27億円を計上する見込みとなりました。

また、上記に加え株式会社クックパッドベビー及び、Cucumbertown, Inc.において今後の事業計画、回収可能額を慎重に検討した結果、合計約8億円の減損損失を計上する見込みとなりました。

個別決算

2016年12月期決算の連結決算（IFRS）において、上記ののれんの減損損失等を計上する見込みになったことに伴い、個別決算（日本基準）においても、関係会社株式評価損を約47億円計上する見込みです。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

連結決算

当該事象により、当社は、2016年12月期決算の連結決算（IFRS）において、のれんの減損損失等約35億円をその他の費用に計上する見込みとなりました。

個別決算

当該事象により、2016年12月期決算の個別決算（日本基準）においても関係会社株式評価損を約47億円計上する見込みです。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算において消去されるため、連結損益に与える影響はありません。